

1. 実況上の着目点

① 前線を伴う低気圧が日本の南を東北東進。前線は南西諸島付近から日本の東へのびている。先島諸島付近と伊豆諸島付近では前線近傍で1時間50mm以上の非常に激しい雨を解析し、発雷を多数検知。前線を伴う低気圧が三陸沖を北北東進。前線は伊豆諸島付近へのびている。500hPa 5580m付近の正渦度極大域に対応した低気圧が日本海を北東進。

② 日本の東の高気圧が東北東へ移動。華中の高気圧は、ほとんど停滞。

③ 500hPa 5280m以下で-39℃以下の寒気を伴う寒冷渦がアムール川下流付近を東南東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の三陸沖の低気圧は27日にかけて急速に発達しながら北北東進、日本の南の低気圧は発達しながら北東進する。その後、西高東低の気圧配置となり、関東の東海上にシアーラインが形成され、28日にかけて上空の寒気が南下する。日本海の低気圧は、27日にかけて、500hPa 5280m付近の正渦度極大域に対応して発達しながら間宮海峡付近へ進み、日本海の低気圧付近からのびるシアーラインが27日朝から27日夜にかけて北日本を通過する。前線や低気圧とシアーラインに向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。北日本では27日にかけて、東日本では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本と南西諸島では27日にかけて、東日本では26日は、落雷、突風、降ひょうに注意し、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。また、1項②の高気圧と前線や低気圧との間で気圧の傾きが急となり、非常に強い風が吹き、波が高くなり、しける所がある。北日本では27日は暴風に警戒し、高波に注意・警戒。全国的に27日にかけて、強風やうねりを伴う高波に注意。

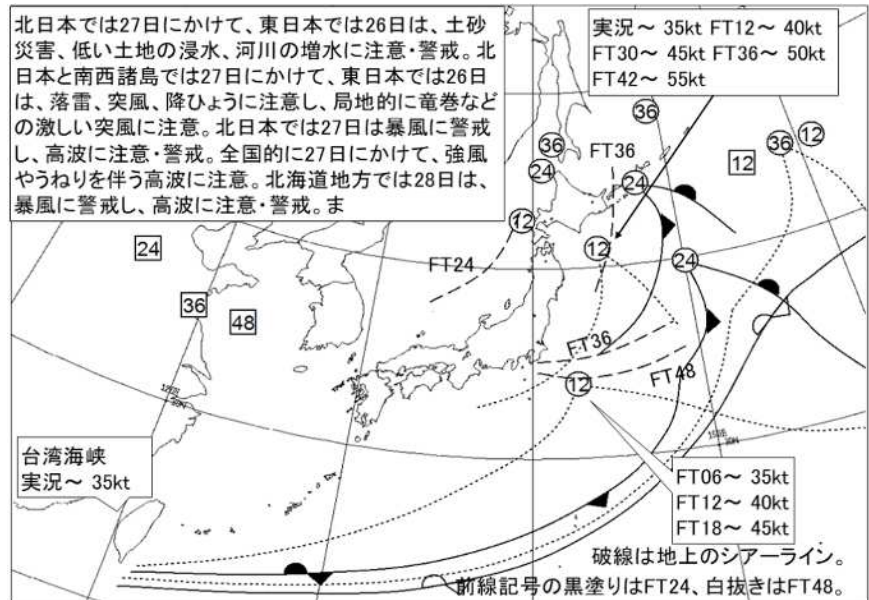
② 1項③の寒冷渦は28日にかけてオホーツク海へ進む。2項①の間宮海峡付近の低気圧は、28日にかけてオホーツク海に進み、三陸沖を北上する低気圧と一体化し、寒冷渦に対応して暴風警報級に急速に発達する。低気圧周辺では、非常に強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなり、しける所がある。北海道地方では28日は、暴風に警戒し、高波に注意・警戒。また、上空の寒気の南下で大気の状態が不安定となり、雷を伴い降雪となる所がある。北日本では28日は、落雷や突風に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：北海道・東北・沖縄4、関東・伊豆諸島・北陸・東海・近畿・中国3m。③ 高潮(明日まで)：東日本～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図